

## 第一回家庭教育学級 報告書

7月8日土曜日、本年度最初となる第一回家庭教育学級が行われました。

「お子さんが将来スマホやネットを賢く使いこなしていくために」の講座に65名の参加者にお集まりいただきました。

日頃、学校からも「学校ルール」「家庭ルール」についてのお話があり、各ご家庭でも検討されていると思います。今回の講座では、小中学校用の教材として利用されている中学生のスマホ利用実態の映像の視聴、質疑応答、グループディスカッションなどを通し、とても有意義な時間を過ごすことができました。



### 講座概要

プロジェクターとガイドブックを使用し、子どもがスマートフォンを安全に楽しく使うために、保護者が知るべきサポートの仕組みやポイントを教えていただきました。

#### ・家庭でのルールについて

スマホ購入時は厳しいルールに設定し、年齢・興味に合わせて定期的に見直すとよい。

#### ・フィルタリングの有効性と限界について

フィルタリングで危険な利用は回避できても、子どもが発信する情報はフィルタリング出来ないため、子ども自身が加害者になったり、将来大学入試や就職の際に足かせになったりしてしまう危険性がある。

#### ・子どものネット利用について

子どもが安全にネットを使いこなすためには、地域や学校だけのルールに任せるのではなく、家庭内で社会的マナーを守るように保護者が子どもに教える必要がある。子どもにはネットに限らずルールを守ることの大切さを自分で考えて想像できるように、保護者が子どもと自立した向き合い方をしなければならない。



今の子どもたちにとって、必要不可欠なツールになりつつあるスマートフォン。コミュニケーションや情報収集の手段としてだけでなく、学習やスポーツの場でも活用する機会が増えています。地域や学校単位では子どもたちが自ら利用ルール作りを行うなど、主体的に適切にスマートフォンを使いこなせるようにとじてくれています。私たち保護者もスマートフォンやネット使用の正しい知識をもち、子どもたちが安全に楽しく利用できるように適切にサポートすることが大切だということを学びました。

#### \*アンケートより\*

- ・思わぬ危険な利用から、デジタルタトゥーや私刑にさらされるリスクや大学入試や就職にも影響があることを学びました。
- ・You Tuber になりたいと言う息子を頭ごなしに叱らずに、今日の内容を伝えようと思いました。
- ・親子席がよかった。
- ・子供自ら発信することにフィルタリングは出来ない、という言葉が残りました。社会性、マナー、自立した向き合い方が大事ということも。
- ・自分自身がよくわかっていなくて、聞いていてドキドキしました。
- ・スマホ利用の注意点は子供のみならず大人も気を付けなければいけないと、改めておもいました。

